

『幻のピッケル』 特別展示

9月15日（金）16日（土）に開催される、富山高校の文化活動発表会にあわせて、100周年記念館において『幻のピッケル』の特別展示を行います。

『幻のピッケル』とは・・・

7月7日（金）に、戦後まもなく日本高周波鋼業富山製造所（射水市）が200本のみ製造した『幻のピッケル』のレプリカ（複製品）が本校に寄贈されました。同社の前身である日本高周波重工業は、第2次成果大戦の終戦により、民需転換を迫られました。砂鉄を原材料とした、高品質なピッケルもその一環として試作が行われたものでした。登山関係者からは非常に高い評価を受けましたが、生産すればするほど採算の合うものではないことがわかり、生産は200本のみで早々に終了してしまいました。

レプリカは1997年に富山製造所の開設60周年を記念して作製されたものです。今回本校に『幻のピッケル』を寄贈して下さった稲波良孝さんの亡父、三郎右衛門さんが製作に関わった縁で、所有していたものです。



寄贈式では稲波良孝さんから、インターハイに出場する山岳部員の激励と安全を祈願する気持ちも込めて、高森椋子部長にレプリカが手渡されました。高森部長は「山岳部の精神的な支えとしてレプリカを保存していきたい」と謝辞を述べました。